

令和 2 年度 大阪府立和泉総合高等学校 第 2 回 学校運営協議会 議事録

日 時 令和 2 年 11 月 6 日(金) 14:00 ～ 16:00  
場 所 和泉総合高等学校 2F エンパワメントルーム

出席者 委員（敬称略） 寺脇 会長・上條 副会長・一井 委員・原田 委員・松本 委員  
学校・事務局 加納 校長・日下部 事務部長・岡野 教頭・渡口 教頭・出立 首席  
館 首席・川端(教務)・上杉(生徒指導)・吉田(進路指導)・松尾(総務)

次 第

1. 開会の辞

参加者の自己紹介

2. 校長挨拶

エンパワメントスクールとして完成年度を迎えて、さらなる教育活動の充実に向けた取り組みについて

3. 学校生活全般についての報告

1) 進路状況について（進路指導主事）

ア) 進路希望状況（10 月 26 日 現在）について

学校斡旋による就職希望者	47%
自己開拓・縁故による就職希望者	15%
公務員 希望者	2%
進 学 希望者	34%
未 定	2%

イ) 就職について

- ・求人数はコロナウイルス感染症の影響からか、平成 29 年度水準に減少
- ・一次受験で内定にならなかった生徒(約 20 名)に対して、継続して指導中
- ・特別な支援が必要となる生徒の就職先については、過去に本校生の採用実績がある就職先より開拓中

ウ) 進学について

- ・四年制大学および短期大学は、指定校推薦が中心  
(昨年度は一般入試で近畿大学に合格者を輩出している)
- ・コロナ禍で 1 ケ月遅れの動きとなっているため、現時点での合格決定数は少ない
- ・昨年度より、進学希望者が増加

## 2) 生徒指導について（生徒指導主事）

### ア) 身だしなみ指導

- ・大半の生徒は、服装・頭髪ともに本校の校則に理解を示しているが、数名の生徒が、継続した指導が必要な状態にある

### イ) 遅刻指導

- ・1ヶ月に7日以上遅刻した生徒に対して、早朝登校指導を実施  
（教員との対話の中で、遅刻・欠席に対する意識の向上を図り、遅刻・欠席数は減少傾向）

### ウ) 校則の見直し

- ・生徒たちが安心して安全な学校生活を送ることができるよう、弾力的に校則を見直し  
て行く

## 3) 教務部より（教務主任）

### ア) 進級・卒業者数の推移

- ・昨年度 2・3年次生に対して、年度内に追認指導を行い、進級・卒業を認めた。  
その結果、3月1日現在に在籍する全ての生徒を卒業に導くことができた。
- ・進級が認められた者で一定の条件を満たす者に対する年度内追認がコロナ禍で見送りとなり、この措置として夏期追認では、通常1科目のところ2科目まで追認指導の受講を可とした。
- ・夏期追認の受講申込者は増加したが、途中で断念するなど合格率の低下が課題となった。
- ・就業体験(インターンシップ)に2年次生4名が参加し、増単位として認めた。

## 4) オンライン授業への取り組み状況について（舘 首席）

### ア) Google Classroom によるリモート授業に向けた取り組み（リアルタイム型）

### イ) YouTube による授業配信（オンデマンド型）

### ウ) G Suite による授業配信（ドキュメント型）

### エ) Zoom によるオンライン授業の検討（リアルタイム型）

## 4. 質疑応答・全体協議

### 1) オンライン授業の体制づくり GIGA スクール構想

### 2) 劇団四季「リトルマーメイド」鑑賞 情操教育の大切さ

### 3) 進級・卒業者数の増加

### 4) 生徒指導の取り組みの成果

### 5) コロナ禍で学校行事が厳選される中での取り組み 文化祭で舞台でのダンス発表

### 6) クラブ活動の活性化

- 7) 陸上競技部 大阪府高等学校種目別選手権 男子ハンマー投 優勝・女子やり投 6位 など
- 8) PTA の取り組み
- 9) 校内環境の整備 体育館の空調設備

以上について協議された。

- ・ 概ね良好に学校運営が行われている。更に様々な体験により生徒の自己肯定感の向上に努めて頂きたい。(委員)

以上